

~~~~~  
**第14回 生物多様性研究センター勉強会**  
~~~~~

この勉強会は、名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科に設置された生物多様性研究センターの活動のひとつとして、生物多様性について、遺伝子、進化、から生態、環境適応まで、多面的に勉強する目的で、研究、文献紹介(Journal Club)、初心者向けの基礎の説明、そして意見交換を含め、相互交流を計画しました。

勉強会が有意義なひとときとなりますよう、皆様の積極的なご参加とご協力をお願いいたします。

**話題「日本産コメツキムシ科DNAバーコーディングの進捗状況1」**

概要：コメツキムシ科 (Elateridae) は甲虫の中でも大きなグループで、世界に約10,000種、日本では約900種が記録されている。絶滅危惧種や農業害虫を含むことでも注目されるが、種同定が非常に難しいことでも知られている。日本産コメツキムシ科のDNAバーコーディングが、生物多様性研究センターと大平仁夫博士(数少ないコメツキムシ科の分類学者)との共同研究により進められている。現在までに日本全国から数千個体のサンプルストックが集められ、本州産の普通種の大部分を含む400タクサ以上の解析が終了した。その結果、いくつかの学術的に興味深い知見が得られ始めているので中間報告する。とくに、ヒゲコメツキの地域差、ミヤマヒサゴコメツキの山地ごと亜種関係、シモフリコメツキ属の多様性などをトピック的に紹介したい。

日時 12月7日 (水) 19:00~

場所 名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科  
滝子(山の畑)キャンパス 5号館2階 259号室

話題提供者 大場 裕一氏  
名古屋大学大学院生命農学研究科  
応用分子生命科学専攻  
バイオモデリング講座(分子機能モデリング研究分野)